

信友

信友会事務局

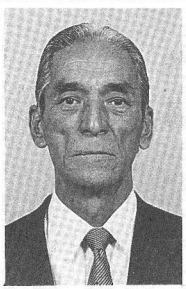
東京都渋谷区東1丁目32-13

ビル・ナミキ橋

電話 03-3407-1192

真の友

信友会会長 田中邦明



このところ筆をれば友のことを書いて来たが、孤独で育った私には友より尊く大切なものはなからであらう。今回も互に励まし合い助け合ってきた兄弟にも、思えば彼と心からの交際を始めたのは、中学三年それも三学期末の試験の時からである。彼は試験が始まったばかりの時急に油汗をかき真書になって机に伏してしまっただけで、直ぐ医務室に運ばれた後入院してしまっただけで、試験が終了後速病室を訪ねたが、殆ど落着いて心配なさそうに見えたが、彼は病室の隅で大事な試験を外したのでそのため落第するのではないかと心配していた。二学期迄の実績があるから大丈夫と慰めたものの、若しもそのことがあったらと思う、その足で丸房露一箱提げ担任の先生宅を訪ねた。難しい顔をして出て来られた先生が一言「おいに委せときごさい」と云われたので、安堵の胸を撫で下ろした。

離れて春休みに入り彼も無事四年に進級したが、私が以来急に交際が深まった。私が陸士に入校した後、始終我家を訪ね父母を慰めて呉れたり、又休暇で帰った時は殆ど泊込んで兄弟のように過して呉れた。

時が過ぎ昭和17年彼は京城の叔母宅に居たので、大邱の八〇連隊に初年兵で入営したと便が来た。当時私は既に任官し東満国境に居たが、早速彼の申す中隊長長に今日の経緯を書き、是非試験の試験を受けるよう指導して欲しいと懇望の手紙を送った。全て彼の實力で無事合格し決定に在った試験校に入校した迄はよかったが、卒業と同時に朝鮮20師団に動員が下された、南方に赴くことになった。

彼からも直ぐ一通の手紙が届き是非君の軍服を着て征進に着きたいと云って来たので、取っておきの軍服に軍用品を添えて送ったが彼はそれを着て、然も連隊旗手に選ばれて勇躍ニューギニアに向った。フィンシハーベン、サラモア、ウエワク等で糧食も途絶え、弾丸も盡き果て、連隊は苦戦を続け、白骨街道と称せられたスタンレー山脈の中を彷徨する運命を辿ったが、連隊旗手をしていたため彼は命を承えろことが出来た。

終戦の翌年、復員船で浦賀岸壁に着き祖国に第一歩を印した時、彼はマリヤで瘦せ細った手に連隊旗の一房を握りしめ、涙ながらに曰く、幹部候補生の道を選び、そして連隊旗手の榮譽まで与えて戴いたのは全く君のお陰、命の恩人よ有難うと。

思うに私は兄弟こそないが、このような友がいることを大変幸せに思うし、又これこそ真の友と言いつけることを誇に思う次第である。

交友の場を広く

副会長 井上秀夫



現役とOBのきずな

副会長 松浦昇



一つにはゴルフ・マージャン・基・トランプ等の遊びの機会でありました。之等の機会には又ストレスの解消や心を和ませてくれる場でもありましたし、之からもそうであろうと思つています。

余生を云々と言う人がありますが、私は余生など余った人生などあるとは思っておりません。人間生を享けて命を終えるまでは、人生そのもので、元気に充実した生甲斐ある生活を送り一杯に過すべきなのだと思います。

OBの仲間入りをした頃はほとんど目標を見失った様な虚脱感がありましたが、そんな気持ちを引き立たせわが人生に充実感を与えてくれたものは、先輩、後輩、同僚の変らぬ友情であり、そしてその交友の場になつてくれたもの、

度でも多く作り度いと考えており、分科会の幹事諸兄がいろいろと努力してくれています。会員諸兄もどうか振って分科会の行事に参加される様に、又今迄仕事一途に真面目に生きて来た方々、今からでも何か始めてみませんか? そして交友の場を広げ、いつ迄も交わらず、気持ちにゆとりある人生を送るべきではありません。同好の士の増えることを期待しております。

では、退職即、公的には自衛隊と無関係となり、例え陸幕長といえども翌日からは身分証明書無しでは営門は通れない、死ぬまで制服は着用出来ない一市民となつてしまふ。米国の場合は他の諸外国と同様、軍人は死ぬまで軍人であり、式典等には制服を着て堂々と出席する。軍の墓地があるのも高い金で墓苑を購入することもない、駐屯地の諸施設を終生使用出来るので、年金だけで老後の生活は可能である。社会的地位も高く、後輩の面倒を見る余裕も十分ある。海外旅行でも軍用機や軍諸施設を利用出来、現役との交流も国の数に基盤の上で深められる。それに較べて、全く「無い無い」の我が国では、唯一頼りとなるのが精神的連繫の強さであらう。精神的連繫を固めるには同一の帰属意識が必要であり、この点、同じ通信電子分野の先輩、後輩で活動する我が信友会は、この日本の利点を最大限に発揮出来る稀有な理想的組織だと言ひ得よう。

会則改訂の趣旨

通信等事務費の新設について

本紙前号で通信等事務費負担のお願いをさせて頂きましたが、二十七年総会の席上で会員の皆様から温かい御理解を賜り会則の一部改正について御賛同を頂きました。平成四年度から会運営経費として、隔年二千元を会員の皆様から徴収させて頂くこと、会則を変更させて頂いたこと、その趣旨を改めて御説明申し上げ、会員の皆様の御理解、御協力を願ひする次第です。

信友会運営の予算状況はこれまでの本紙会計報告の通りですが、その基金は、皆様からの会費(入会時の終身会費)に加え、昭和六十二年に会則を変更し、会費を値上げするとともに、皆様から御寄付をお願いし、その経費をもつて今日迄運営に参りました。しかし今後の運営経費を見積もって見ますと、新規会員の入会時費用、有料配布の名簿代金(二年一回発行予定の各年別収入金額の平均を計上)基金利息等で約五十五万円の収入が見込まれます。一方、機関紙印刷費、同上送料、名簿作成準備経費、会員等に対する慶弔費、通信連絡費、事務費等で約九十六万四千円の出見積金額となり、毎年約四十万円が支出増となり、会の現有資金約二百万円が五年後には零となる現況になりました。何としても本会を維持すべく、今回の規則改正をお願いした次第です。別添会則改正十三条の修正及び第十四条二項の新設が当該事項となります。皆様からの経費の納入要領については、平成四年度から隔年毎皆様の御手許に振替用紙振込手数料信友会負担を送付させていただきますので、これを使用し、隔年二千元を送付して頂くこととしております。

会員の皆様には、何卒その意をおくみ頂き、御協力の程重ねてお願い申し上げます。(総務幹事)

事務局だより

総会・懇親会盛會に終了

去る三月二日、会員諸氏の熱意が反映され好天に恵まれ、会員の皆様百八十余名、陸幕整備部長、調査部長、通信電子課長、通信学校長、通信補給処長、通信団長を始めとする百三十名余の現職の方々の参加を得て、二十七年総会・懇親会が実施された。

総会では、任期満了に伴う会長の選任、会計報告、会則の一部変更の議事が、井上副会長議長のもと進められ、会長は、田中邦明氏が再選され会発展の為引続き盡力して頂くことになりました。また会計報告の承認に引続き通信等事務費の新設の会則改正が認められ、平成四年度から施行されることとなりました。

引続き懇親会では、当日御出席の満七十七才を迎えられた会員の紹介。

名簿の修正について

先般新名簿を会員の皆様にお送りいたしました。総会出席のものがきと照合しましたところ、相当量の修正箇所があることが判りました。このため鋭意整理作業を実施してまいります。本号には間に合わず、次号にて修正の御案内をいたします。(総務幹事)

信友会 新入会員 名簿

H3.5.3現在

氏名	現住所(電話)	勤務先(電話)	最終所属
あ 浅野 仁	〒201 狛江市和泉本町1-36-3-1308 (03-3430-2212)	㈱東芝 (044-548-5101)	東 (2.9.17)
阿部 房敏	〒239 横須賀市津久井568 グリーンハイツ(0468-49-0362)	関東学院高等学校 (045-231-1001)	通 (3.4.1)
か 角島 慧	〒330 大宮市堀ノ内町3-58 岩井コーポラスA7 (048-641-6604)	東京海上火災保険㈱	通 (2.7.30)
亀山 伸顕	〒239 横須賀市久里浜3-32-4 (0468-35-8031)	三井海上火災保険㈱ (045-319-2869)	通 (3.4.2)
た 田丸 菊夫	〒239 横須賀市久里浜2-22-6 (0468-41-0887)	ヤマトプロテック (03-3446-7152)	通 (3.5.3)
な 中村 崎男	〒306 茨城県猿島郡総町上辺見404-7 (0280-31-5009)	シャープ㈱ (03-3260-8458)	施 (2.4.1)
は 島山 勲	〒338 与野市上落合971-5-512 (048-857-4199)	ニコー電子㈱ (045-542-4411)	通 (3.2.20)
み 溝上勤二郎	〒345 埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸3000-39 (0480-35-0954)	日進電子㈱ (0488-55-3761)	通 (3.3.4)
三石 勉	〒175 東京都板橋区徳丸3-5-17-301 (03-3934-6646)	三菱電機㈱ (03-5487-4807)	北 (2.8.1)
わ 渡辺 嘉孝	〒239 横須賀市久里浜3-32-6 (0468-34-5261)	㈱クインズウェイ (0468-25-3353)	通 (2.5.28)

部隊等だより

陸幕

通信電子課

「信友」特別号の紙面をお借りしまして、通信電子課の現況等を紹介いたします。

一、三、四月の定期異動に伴う恒例の檜町地区通信グループ歓迎会を四月十日に実施しました。

現在、檜町に所在する各機関・部隊の共通職域及び通信職域において勤務しているものは、百三十二名うち今回転入者は二十四名の多きにのぼっております。

通信学校

久里浜駐屯地は、昭和二十五年創設以来四十年を経過し、昨年度の先輩諸兄、地元の有識者、近傍地域住民等を招待し、現役隊員とともに駐屯地創立四十周年記念行事を実施致しました。

通信学校も昭和二十七年創設以来間もなく四十年になろうとしております。近年の陸上自衛隊装備及び指揮通信システムの近代化に伴い、陸自における通信電子の占める比重が増大しており、通信学校は陸自通信電子の中核として、その地位・役割は従来に比し益々重大になっております。これを象徴するものとして、昨年度6号館跡に新装備総合実習教場が完成し、陸自の最新装備である「地対艦ミサイル」及び「統合デジタル通信網」用器材は、コンピュータを駆使した器材であり、従来の教育要領では対処し得ず、コンピュータを主体とするトレーニング等、修理実習教材を使用した近代的な教育を実施しております。この外近いうちには「野戦特科射撃指揮システム」、「対空射撃指揮装置システム」、「多連装ロケット」及び「湾岸戦争で緒戦を制した」電子戦装置」等が導入され、その教育も開始される予定であり、名実ともに陸自通信電子の中核となります。

通信団

通信団が所在する、ここ市ヶ谷台は、今まさに大きく変貌しようとしております。

変貌の第一は、防衛庁本庁等の市ヶ谷移転に伴うもので、計画通り進めば、平成九年頃には内局・統幕・陸海空幕等の中枢機関が、市ヶ谷に移転してくる事になります。これに関連して、本年四月から市ヶ谷の埋蔵文化財調査が開始されました。まずヘリポート周辺の調査が開始されたと共に、由緒ある記念碑等が移設され外見的にも様変わりしつつあります。更に六年度には、極東裁判があつた大講堂・参謀本部の地下壕も取り壊される予定であるため、部内外の見学者が連日殺到しております。

通信補給処

平成三年三月十六日付をもって上村処長に代つて牧田直義陸幕補(調本・副本部長)が処長に着任しました。牧田処長は当面、前処長の方針を踏襲し「創意と執念をもって諸制約を克服、任務を達成し陸上自衛隊の戦力の向上に寄与したい」と力強く訓辞された新体制でのスタートを切りました。

通信は過去三年間、行政監察、総合視察、陸幕監察受察等極めて多忙でありましたが、本年も創立四十周年「不惑の年」を迎えたなかで、防衛庁本庁等移転に伴う施設再配置事業、中央補給処集約一元化事業等の準備を着々と進めております。

隊の近代化に最大限寄与する通信学校となる」と掲げ、校長以下全職員が日夜懸命の努力を積み重ねていくところであります。(広報班長)

その変貌は目を驚かすものがあります。これらの変貌を、信友会の諸先輩方には是非御視察いただきたく、御来園をお待ちしております。(高級僚僚)

北部方面通信群

北部方面通信群は、平成三年一月初めから札幌雪まつり協力及び日米共同方面隊指揮所演習通信支援に主力が参加し無事任務を完遂しました。雪まつりでは、ドイツ統一で話題になりましたベルリン市を取り上げ「ドイツ旧国会議事堂」と「ブランデンブルク門」の大・中の雪像を制作、世界各国から約三〇万人の人達が見物されたが、さすがは通信群の雪像と絶賛を受けました。一方、日米共同方面隊指揮所演習は、一月七日から東千歳地区に本格的準備を進め演習のための通信組織を構成維持運営し良質な安定した回線を提供した。また、装備の近代化に伴い重搬送小隊の新編、陸自データ通信システム等の導入が行なわれ、今年度を迎え四月九日から「近接戦闘訓練」の通信支援を駒ヶ岳演習場で実施した。今年度は、方面総監検閲受閲を最大の目標とし、現在各個訓練及び基本訓練を重点に諸準備を進めているところであります。(援護広報幹部)

東部方面通信群

群創設以来、早くも八年の月日が過ぎました。この間、日航機墜落に伴う災害派遣を始めとし大喪の礼、即位の礼、自衛隊記念日行事等における多くの重要任務を担い致しました。

今年の六月には南関東大震災を想定して群の実動、そして引き続き一般想定で指揮機関の訓練検閲を小田原総監から受閲いたしました。

また防衛力整備の面でIDDNや機器換装に加え施設再配置事業が開始されました。隊員は決して楽ではありませんがこのような体験と試練の積み重ねによって強い自信と誇りを持つにいたつています。創隊に御尽力いただいた方々や先輩諸兄並びに御協力下さる企業の皆様には心から感謝いたします。私共通信科職種の役割は年々拡大される傾向にあります。従来叫ばれて来た電子の他にオーディオ・ビジュアル、コンピュータ、印刷等々続々とテーマが待っており、今後の皆々様の御指導と御支援を賜りたく私も一同心から御願い申し上げます。(群長)

西部方面通信群は「目標を持って明るく逞しく前進しよう」の群長要旨を合言葉に、平成三年度の隊務を開始しました。

恒例の訓練開始行事は、各部隊種々工夫を凝らし、金峰山登山の群本部付隊と三〇二支中・黎明の非常呼集から即動態勢整備までの一〇三連大・釈迦院三三三原三三階段登りの三〇一一般中・田原坂古戦場等・霊山・名利に健脚を競った一〇四基大・隼下中(派隊等、新年度はへんたつと兵を進めます。本年度は、主要通信器材更新の年であり、年度当初から斉整円滑な導入及び早期戦力化を目指し、準備にとりかかっています。

運動競技面においても、伝統のバレーボールを始め、銃剣道・剣道・空手など武芸百般にわたり、その名を全軍に揚げんと鍛練に励んでいます。

男女新戦力の大量配置により、近年一段とパワーアップした西通群に、今後共御支援の程、お願い致します。(西通群広報班)

西部方面通信群

東北方面通信群

東北方面通信群の隊舎の前には、よつとした庭園がある。この庭園は第六代群長加茂敏夫氏が「自分の環境は自分たちの手で、自分のスローガンのもと、自らが陣頭指揮して設計から施行まで隊員の手でやっつてのけ、約六ヶ月かけて完成した庭園で、その名は「静勝園」という。

「静」とは「正」なり、「整」なり、また、「斉」、「勢」に通ずるものなり。

即ち、十分な準備を整えてその兵勢を得て勝ち、易きに勝つを「静勝」という。

この庭園は、この意味をこめて

中部方面通信群

中部方面通信群は、平成二年三月着任した佐藤群長を核心として「隊員の自主性・創造性の発揮」をモットーに日夜「通信の近代化に円滑に対応するとともに、即応態勢の維持・向上を主眼に隊務を運営」して信頼度の高い精強な通信



課長 松田 1 佐



校長 青山将補



団長 成松 1 佐



処長 牧田将補

再出馬を期して

参議院議員 永野 茂門

信友会の皆様方の暖かいご支援、せたい執念に燃えております。安全確保、就中防衛の問題は国家の基本問題であります。この基本問題が政治取引の材料に供され何でも反対されたのでは国際的役割の増大した日本の立場を益々弱めるばかりであります。先程の湾岸戦争における日本の貢献策で世界中の非難を浴びたのも、与野党を通じて危機管理や防衛問題に関する国際感覚や識見が未成熟な国内土壌があることは否めません。日本が二十一世紀に向けて繁栄の道を選択するか、孤立の道を歩むかの重要な岐路が来年度の参議院選挙であるとも考え微力ながら再挑戦の意志を確定したものであります。



私は、去る昭和六十一年の選挙で参議院議員に選出され、以来、防衛の諸問題について、衆議院で通過した法案も参議院で否決される状況が続いていることは誠に遺憾であります。来るべき来年度の参議院選挙でこれを是正することは困難かもしれませんが、一歩でも前進し正常な状態に復帰しようと思っております。

信友会顧問
元陸上開発官

大河原 三平

永野議員と私

永野議員との最初の出逢いは広島県の第二連隊で、ヤンチャ中尉対士官候補生で、先輩面して色々悪いことも指導致しました。又昭和十六年漢口の第十一軍通信隊に居ましたとき、見習士官として着任され、第二次長沙作戦を共に戦いました。間もなく私は急に内地に転勤となり、慌しい中で、やがて少尉任官のお祝いをして別れました。終戦後は比較的早い時期に再会することが出来、時々天下国家を憂えたり致しました。自衛隊では同じ通信職種、しかも研究開発関係で永い間身近な勤務が続きました。

七年前参議院に出馬されると聞き、秀れた能力と行動力を政治の場には是非活かして頂きたいと微力ながらお手伝いさせて頂きました。が又々妙な御縁で後援会理事長を仰せ付けられ、あつという間に次の選挙に突入となり、戦中でありました。二期目で大活躍をして頂くよう奮闘中でありました。あらためて通信ファミリーの皆様の熱い御支援をお願い致します。

永野議員の活動状況

永野茂門後援会
事務局 久野春夫

去る昭和六十一年の参議院議員選挙で、私は永野議員の抱持として行動、約一年半土曜日・日曜日もなく、全国各地を訪問数多くの信友会会員や現職通信職種幹部の方々と面接の機会を与えられ、大変有意義でありかつ皆様に大変お世話になった事をあらためて御礼申し上げます。

永野議員も当時こんな全国を廻ったことは初めてであると思われ、この時は初めての行動、千軒は東京・札幌を千軒とした場合、約四万軒であったと記憶しております。

永野議員は、比例代表制選出議員であり、これは遊説の目的は、自民党の党勢拡大であり、決して個人の売名ではありませんでした。が、立派にこの目的を達成し、目出た当選の栄誉を獲得された訳であります。

永野茂門後援会の近況

近況

永野茂門後援会では、現在の事務所(六本木防衛庁正門前)の裏手、徒歩二分の場所に選対用の事務所を開設するとともに選対本部を発足させました。

本部長に竹田五郎元統幕議長、補佐に松村栄一元西方総監、事務局に増岡元東方総監が就任され活動を開始いたしました。

永野議員の略歴

大11年 大分県で出生
昭16年 陸軍士官学校卒業
(55期)
昭20年 終戦時中支電信第13連隊中隊長 陸軍大尉
昭26年 警察予備隊
昭27年 通信学校勤務
昭29年 米陸軍通信学校留学
昭32年 陸幕通信課
昭34年 大阪大学研修
昭43年 西方通信群長

昭46年 陸幕通信課長
昭49年 陸幕通信課長
昭51年 陸幕通信課長
昭52年 陸幕通信課長
昭53年 陸幕通信課長
昭61年 陸幕通信課長
平22年 現在参議院議員
安委会委員
安委会委員

昭46年 陸幕通信課長
昭49年 陸幕通信課長
昭51年 陸幕通信課長
昭52年 陸幕通信課長
昭53年 陸幕通信課長
昭61年 陸幕通信課長
平22年 現在参議院議員
安委会委員
安委会委員

会員の声

総会への出席通知の通信欄を活用して多数の会員からお便りを戴いております。これらは本来、御本人が公開されることを予期しないで寄せられたものではあります。が、事務局内にとどめるには、文字通り防衛議員の第一人者であります。また、国際感覚の持主であり、毎年数回海外に出張、日本の立場を堂々と主張されております。先年のなだしお事件でも、昨年の湾岸戦争でも、随分政府要路に對し、防衛の地位向上、安全保障の重要性、自衛官の処遇改善等に関し根回し作戦を展開されております。根回しのためマスコミに登場しないだけです。

作見 勝

森さんのオリビックの記事を読み感動しております。寺山三郎田中会長の孤独、同郷の者として感動しました。陸上通信トビックスは地方に住む者に参考になります。青木氏の「ゴマメの歯ざり」一稿感です。副島岩夫

信友二二号とても懐しく拝見しました。岡さんの警察予備隊時代の思い出の記事、夢中で読みました。矢口さん共どもお元気なのが何よりです。私も二通で美幌に行つた一人です。戸久世清

平和に役立つ戦場の人間像を描

おめでとう
ございます叙勲
春

勲三等瑞宝章 吉松秀信(元通信学校校長)
勲四等旭日小授章 小島 忠(元通信補給処長)
勲四等旭日小授章 瀧山 周(元通処副処長)
勲六等瑞宝章 岸田万治(元通信補給処)
勲六等瑞宝章 小杉武尾(元2通大)

く体験者の懇談会を設け記事にされては。中西清一

週三日は会社で総務指導、余日はボケ防止のため放送大学に入学し「人間の探究」を専攻中です。一四単位を終了、あと何年か、か生きる限り挑戦するつもりです。吉岐 穆

石の上にも三年と申しますが、私もやつと二年早くも三年でしようか二人前に仕事をごさせるようになりまして。周囲が見えるようになるとひと言、言つてしまつて余分な仕事にまで手を出したりです。今がこれからの軌道を作る時と自重する毎日です。中村 明

健康管理に配慮しつつ、鍼灸師として自適の毎日を通してあります。浜田栄一

退官十二年になります。趣味ではじめた鎌倉彫が、今は本業になり六ヶ所の教室で毎日頑張っております。宮地 孝

昨年会社を卒業し、無官の太夫を決め込み、に元気に暮らしております。伊藤和男

基会所で勝敗にこだわらず囲碁を楽しんでいます。森本 隆

歩行不自由で総会を欠席しましたが、吉松秀信

老いて益々元気で九州本島内の主な山を歩かしています。そのうち霞を喰つて生きてゆけるのでは。ただし久米の仙人的にしよう。重富熊雄

家内の看護のため総会を欠席し、本田 滋

虚血性心臓のため、急激な行動、重量物運搬等の負荷やアルコールは一切駄目になりました。基礎体力維持のためヨガを始めています。岡正一

健康を害し目下静養中です。小嶋孝平

昭和五十七年より入院中で、今のところ退院のメドがありません。中武敏秀

体調未だはかばかしくありません。吉田俊光

平成二年十一月胃の手術を行い大半を切り取りました。術後の経過は良好ですが、一回分の食事を

後記

●今回は会則の改訂のため臨時に特別号を発刊することになり、関係各位の御理解と御協力により充実した内容になりました。特に現職の皆様の御協力により、懐かしい母隊の近況をお知らせして、現役とOBの絆を深める一助になれば願っております。御協力に感謝します。(広報担当一同)

訃報

謹んで御冥福をお祈り申し上げます

(氏名)	(御逝去年月日)	〒	(御住所)
小野 美津雄	59. 11. 30	080	帯広市南区東3条7-12
高橋 真	1. 3. 21	985	多賀城市下馬3-21-7
松浦 幸	3. 2. 17	233	横浜市港南区上大岡東1-30-1
上 阪 一	3. 3. 8	187	小平市学園西町3-3-3

数回に分けて喰べる食事管理に閉口しています。飯田正雄

寒い間は軽い心不全を起しやすいので自重しております。上野 収

札幌医大病院に入院中です。阿部正勝

何分リウマチ患者のこと、皆様に御迷惑をかけるのも憚られます。すので総会を欠席します。築山栄次

昨年輕い脳梗塞をわずらひハビリ中です。保科年夫

●今回は会則の改訂のため臨時に特別号を発刊することになり、関係各位の御理解と御協力により充実した内容になりました。特に現職の皆様の御協力により、懐かしい母隊の近況をお知らせして、現役とOBの絆を深める一助になれば願っております。御協力に感謝します。(広報担当一同)